

癒しの時間をくれるもの



シシラサギファミリーと春田(特選)



来島診療所の外庭の花壇

写真との出会い

当時勤めていた来島診療所が、平成17年に無床診療所になり、時間と心にゆとりが生まれ、出かけられるようになりました。その頃はデジタルカメラの性能もよくなってきていたので、カメラを始めました。デジタルカメラで最初に撮ったのが「来島診療所の外庭の花壇」です。

写真で癒しを。フォトセラピー

懐かしい写真や花の写真、子どもの写真。それぞれに物語や背景があります。その背景や撮影したときの私の感情をお話して、癒しの時間を持つてもらおうのがフォトセラピーです。

初めは、福祉施設のデイサービス利用者さんや入所者さんを対象に、皆さんに馴染みのある場所や風景を紹介していました。興味を持って見てもらえたいし、懐かしんでもらえたいよ。写真は、人にも、自分にも癒しの時間をくれます。

始めた頃はアルバムで、2年前からはパネルで紹介するようになりました。「飯南町の四季」「町周辺の四季」「桜」「梅」「鳥」みたいにテーマを決めてね。今後は「雲」や「滝」のパネルを作ってみたいです。

終わりのなき旅路

昨年開催された「第53回島根県総合美術展」。その写真部門で、町内の写真クラブに所属する7人(当時)の作品が「入選」に選ばれました。写真クラブは町内に2つ。そこには、写真を撮るのが好きな人たちが所属しています。



落陽(入選)

写真との出会い

わしが写真と出会ったのは20歳の頃。親父から「何か趣味があった方が良くない」と言われ、親父の2眼レフカメラで写真を撮ったのがきっかけだね。その後、初めての給料で一眼レフカメラを買ったよ。

狙ってない時に撮れるもん

もともと人を撮るのが多かった。その瞬間を写真に残すのが好きでね。人の成長は早いし、人の表情は変わっていくから。よく子どもや孫を撮っていたけど、今は孫も大きくなって嫌がられるようになったよ。昔撮った写真を見てみると、懐かしいし、本当に可愛らしいね。

最近は、風景を撮るようになった。自然は自由で、自分の好きな時に撮れるから。ただ、気象条件との勝負だけだね。その時しか撮れない写真を狙っているよ。

「落陽」は、夕日にかかる雲、全体のコントラストが気に入っている作品。夕日が雲に隠れてしまっただけだと思えば、帰りに帰った時、夕日が顔を覗かせた瞬間をとらえたよ。やっぱり狙った時は撮れなくて、狙ってない時に撮れるもんだね。



●牧原正 さん(野営)
72歳、フォトクラブ氷柱所属
●フォトクラブ氷柱(昭和55年発足)
・所属人数:4人
・活動内容:月1回、それぞれの写真を持ち寄り品評(氷柱会館)、写真鑑賞、作品出展

記憶に残る作品を

いつも変わらない風景をどう作品にするか。誰もが撮るような場所でも、見方や切り取り方で変わってくる。人の目で見ると風景とカメラを覗いて見る風景は違うからね。「何か作品になるところはないかな」と、いつも眺めているよ。「ただ綺麗なものだけじゃない、人の記憶に残る作品」を撮りたいね。

それから、人が行かない場所でも写真を撮って、たくさんの人にその場所を知ってもらいたい。わしが撮った写真は、町内の発表会や来島文化祭に展示させてもらっただけで、見た人から「これどこで撮っちゃった?」って声をかけてもらっただけ。写真から始まる会話を楽しんでるよ。



牧原さんのお父さんが愛用していた2眼レフカメラ

わしはまだまだひよっこ

やればやるほど奥が深いのがこの世界。先がどんどん遠くなっていくような感覚。自分がいいと思った作品を出展しても、県展ではせいぜい入選止まり。人の作品と比べると、自分の作品との違いは一目瞭然。

わしはまだまだひよっこ。だから、写真展とかに行くと、人の作品を見ようとしているよ。ここまで続けられたのは妻の理解と協力があってから。あと10年は続けていきたいのよ。

写真との出会い

そんな感じで、花に始まり、風景、近頃は鳥の写真を撮ることも増えてきました。

ある日、朝からサギの群れが家の前の田んぼに来ていて、夕方までそこで食事をしていました。その時撮影したのが「シシラサギファミリー」と春田です。一日中縁側に座って、サギを観察しながら撮影したんです。まさか、この写真が県の写真展で特選に選ばれるとは思っていませんでした。

シシラサギファミリー来客

そんな感じで、花に始まり、風景、近頃は鳥の写真を撮ることも増えてきました。

ある日、朝からサギの群れが家の前の田んぼに来ていて、夕方までそこで食事をしていました。その時撮影したのが「シシラサギファミリー」と春田です。一日中縁側に座って、サギを観察しながら撮影したんです。まさか、この写真が県の写真展で特選に選ばれるとは思っていませんでした。

我が町のいろいろ探し

写真を撮る場所は、新聞やホームページで調べたり、人から聞いたりして探しています。それらを「花や風景の見頃場所の情報」にまとめて、町内の公民館で、写真と一緒に紹介

していただいています。

写真を見てくれた人からは「飯南町にこんないいところがあったんだ」などと声をかけてもらいます。だから私も「我が町のいいところ探しができますよ」とお伝えしています。

写真を撮る場所は、新聞やホームページで調べたり、人から聞いたりして探しています。それらを「花や風景の見頃場所の情報」にまとめて、町内の公民館で、写真と一緒に紹介



健康講座とフォトセラピーin福島邸



●安田 勲 さん(頓原)
71歳、秀峰写真クラブ所属
●秀峰写真クラブ(昭和57年発足)
・所属人数:13人
・活動内容:2カ月に1回、それぞれの写真を持ち寄り品評(交流センターとんぼら)、作品出展